



『新しい景色2023』

校長 二瓶 庄吾

あけましておめでとうございます。

今年も、子どもたちの安全・安心を第一に、教職員一同全力で教育活動を進めてまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年11月から12月にかけて、世界最大規模のスポーツの祭典といわれるサッカーワールドカップがカタールで開催され、世界中が熱狂し、日本代表の活躍に多くの感動や勇気をもたらしました。



1次リーグで、ドイツ・スペインという優勝経験のある世界屈指の強豪と対戦し、いずれも劣勢から逆転勝利を収めたことや、スペイン戦でのゴールライン際から三笥選手があげたクロス「三笥の1ミリ」といわれるプレーは、**最後まであきらめないことの大切さや仲間を信じる力が夢をつなぐことを**教えてくれました。

また、世界中で話題となった日本サポーターのスタンドでのゴミ拾いは、「日本サポーターの振る舞いはすべての人の心を掴んだ」と称賛されました。さらに、選手たちも同様に、試合後、使用したロッカールームのすべてを片付け、感謝のメッセージとともに、日本の伝統である鶴の折り紙を残していったことも話題になりました。森保監督が、PK戦でクロアチアに敗れた直後、スタンドに近づきサポーターに向けて深々とお辞儀をする姿も、感謝を示す日本の伝統的な所作として強い印象を残しました。これらの、「日本らしい」**相手に敬意を表し、思いやる姿勢・行動**を誇りに思える場面がいくつもありました。

そして、これまで成し遂げられなかったベスト8以上を目標に掲げ、『新しい景色』として努力を積み重ね、強い気持ちで臨んでいる姿に心打たれました。残念ながらベスト8という「新しい景色」をみることはできませんでしたが、それとは違う別の「新しい景色」にたどりついたともいえると思います。**現状をしっかりと把握し、強い思いをもって目標を立て、それに向かって努力を積み重ねることの大切さ**を改めて感じました。

2023年1月、新しい年のはじまりは、それぞれの『新しい景色』をみるために、どのような努力・行動をするのかという決意を新たにすよい機会だと思います。

今年も、学校やまちがもっと素敵な「あいさつ」であふれる『新しい景色』を思い描き、「あいさつ」の大切さをしっかりと理解し実践していける力を育てていきたいと思っています。

- ㊦いてをみて (あなたを大切に思っています!)
- ㊧いつでも (何度でも・・あいさつであふれる!)
- ㊨わやかに (明るく元気に!みんなが気持ちよくなるように)
- ㊩ないで (友だち・家族・学校・地域・社会・世界中に!)

